

私の前任校は<sup>はだのそうごうこうこう</sup>秦野総合高校という学校で、かつては県内に 11 校あった総合学科高校の一つです（今は 7 校になりました）。総合学科というのは、足柄高校のような普通科と、商業、工業、農業などの専門学科の両方の科目を置く学科のことです。単位制の学校で、生徒は 4 つある系列の<sup>こうざぐん</sup>講座群の中から興味のある科目をとることができました。

昨年度のことですが、関東地区の総合学科高校の校長の会議が、東京の<sup>はるみそうごうこうこう</sup>晴海総合高校というところでありました。<sup>りんせつ</sup>隣接する二つの高校を<sup>とうごう</sup>統合して、<sup>しきち</sup>広い敷地に新しい校舎を建てた学校で、東京湾に近い<sup>つきしま</sup>月島というところにあります（もんじゃ焼きで有名ですね）。まるで大学のような建物でしたが、制服を着た高校生がいるので、「ここは高校なんだ」とわかる感じでした。（ちなみに東京では、女子高生の短いスカート丈の流行がすっかりすたれて、膝丈でハイソックスの生徒ばかりでした。）



（晴海総合高校HPより）

さて、その晴海総合高校には、「広報部」という部活があり、とても生徒に人気があるのだそうです。私も会議のあと、広報部の生徒に校内を案内してもらいました。とてもよく学校のことを知っているだけでなく、器用に後ろ向きに歩きながら話す様子や小さいけれどよく通る声の調子など、プロのガイドさん顔負けのテクニックでした。

総合学科高校にはキャリア教育（進路指導）に力を入れる学校が多く、晴海総合高校もその一環として<sup>いつかん</sup>広報部をつくったそうですが、現在では部活の先輩後輩で学びあい<sup>せつさたくま</sup>切磋琢磨するとともに、学校説明会のシーズンになるとフル出場の状態<sup>じっせん</sup>で、実践の中で技術を磨いているそうです。

私は勤めている学校の生徒のことを誉められると、自分のことのようにうれしく、また反対に生徒のことで苦情やトラブルがあると、自分が叱られているように思ってしまうところがあります。実は晴海総合高校の広報部の生徒が、同じことを学校案内の最後に言ったので、びっくりしました。

さて、中学 3 年生にとって、夏休みは高校選びのクライマックスの時期だと思います。足柄高校もオープンスクールをやったり、合同説明会に参加したりしていろいろ中学生にアピールしていきます。しかし、中学生が最も気にするのは、その学校に行っている自分の先輩の姿ではないかと思います。足柄高校に広報部はありませんが、皆さん一人ひとりの姿が足柄高校を広報していることを忘れないでくださいね。